

産業建設委員会

一般会計補正予算

●野菜集出荷場の機器整備について

説明 ブロッコリーの生産量が増えてきたことから、JAたんなん野菜集出荷場の、出荷の際に必要な製氷機を追加整備する事業である。

問 出荷のための製氷機とのことだが、氷はなぜ必要なのか。その重要性は。

答 ブロッコリーは鮮度の落ちやすい作物であるため、変色を防ぐなど、鮮度を保つためには氷が必要となる。氷詰め出荷が全国の産地で一般的となっており、鯖江産地としても欠かせないものである。

●PR看板のリニューアルについて

説明 JR鯖江駅前、駅構内、南公園グラウンド南側、鳥羽ポケットパーク内の4ヶ所に設置されている看板をリニューアルする事業である。

問 その目的と期待される効果は。

答 ここが「めがねのまち」であると一目で分かるよう、よりわかりやすい看板デザインに一新することで、「めがねのまちさばえ」のさらなるPRにつなげたい。

問 鯖江の三大地場産業をPRする看板がなくなった経緯は。

答 鯖江市の認知度向上のために、鯖江と言えば眼鏡フレーム製造の産地であるというイメージを先行させ、その次の段階で、他の鯖江の魅力を伝えていくという考えによるもの。実際に、県外でのPR活動の際には、鯖江と言えば「めがねのまち」と話をされる方が多く、そういった中で、鯖江市の他の魅力の紹介にもつながることができている。

●幹線道路の美化について

説明 昨年、福井国体の開催に向けて取り組んだ美化活動の継続と、集中豪雨の冠水対策として、道路排水のための街渠柵(がいきよます)に堆積した土砂の除去を行う事業である。

問 対象となる路線は、どのようにして選定しているのか。

答 福井国体の際に設定した美化整備重点路線により選定した。その他の路線については、日常のパトロールや、地元の要望等を鑑み、予算内で対応したい。



美化対象路線のイメージ

教育民生委員会

一般会計補正予算

●10月からの幼児教育・保育の無償化について

問 子どもがどこへ入所しても無償となることは良いが、現場の保育士の給与には格差があり、保育士の離職も多く、保育行政の質の向上を目指すためにも、保育士の待遇改善・均一化を市独自で検討し、現場や地域の声を取り入れ、予算化すべきでは。

答 今年度から、新規職員にOG保育士が巡回指導する「保育指導者巡回事業」を開始し、若手職員の職場定着を図るとともに、引き続き、保育士の求人募集を継続し、保育士の確保に努めていく。また、来年度からの会計年度任用職員制度への移行による臨時職員の処遇改善や事務員の配置、入退園の管理などが可能なICTシステムの導入などによる保育士負担軽減を検討する中で、保育の質の向上を図っていきたい。

●鯖江市文化センター耐震補強工事 建築工事 請負契約の締結について

問 「災害時の避難所だけでなく、通常時においても地域に開放する地域交流センターとして整備する。」との説明だが、これはどういった内容か。また、地域のサロンのような使い方をするのであれば、ソファ等整備がされるのか。

答 正面玄関を入ったホールまでのスペース「ホワイエ」については、常時市民が入って休憩できるスペースとして、ミニコンサートなどへの貸し切りスペースとしても使用できるよう対応する。備品については、ソファやテーブルを別途整備する予定である。



文化センターホワイエの完成イメージ図